株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申 しあげます。

第108期の中間報告書をお届けするにあ たりまして、ご挨拶申しあげます。

当中間期における当社グループを取り 巻く事業環境は、米国におけるサブプラ イム問題に端を発する金融・資本市場で の信用収縮懸念の影響などにより不透明 感が高まりましたが、欧州および中国を 中心とするアジア地域の成長により、引 き続き堅調に推移いたしました。国内経 済も、原材料価格の高騰が引き続き懸念 されるものの、個人消費の緩やかな回復 や輸出の好調持続などにより、総じて堅 実なペースで推移しております。

このような事業環境のもと、当中間期における当社グループの連結業績は、売上高2兆5,131億円、営業利益439億円、経常利益299億円、当期純損失93億円となりました。

単独業績は、売上高1兆4,001億円、営業損失187億円、経常利益418億円、当期 純利益298億円となりました。

当社の剰余金の配当等に関する基本的 な方針は、株主のみなさまに安定的な配 当を実施するとともに、財務体質の強化 および業績の中長期的な向上を踏まえた 積極的な事業展開に備えるため、内部留 保を充実することにあります。

当中間期におきましては、前期に計上した純損失により株主資本が毀損された状況ではありますが、収益は回復基調にあり、継続して安定的な収益およびキャッシュ・フローを見込んでいることから、株主のみなさまへの当中間期の配当金は、引き続き1株につき3円とし、支払開始日を12月25日とさせていただきました。

株主のみなさまにおかれましては、な にとぞ倍旧のご指導、ご支援を賜ります ようお願い申しあげます。

平成19年12月



代表取締役会長 **秋草 直之** (左側) 代表取締役社長 **黒川 博昭** (右側)